

# 行政視察内容報告書

令和 2年 3月 30日

土佐清水市議会議長  
永野裕夫様

会派名 議会会派 みらい

(提出者) 氏名 山崎誠一 

下記のとおり報告します。

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	作田喜秋 武政健三 谷口佳保 吉村政朗 浅尾公厚 山崎誠一 <div style="text-align: right;">計 6 人</div>
期日	令和 2年 2月 6日 から 2年 2月 7日 まで
【概要(年月日・場所・内容)】	日程： 2月6日 午前8時 土佐清水市役所発 午後2時室戸市到着 日時： 令和2年2月6日(木)～2月7日(金) 場所： 2/6 室戸市役所を視察 2/7 室戸市内業者・道の駅「とろむ」他視察
【内容】	<p>◆ふるさと納税の寄付額12億円超えの室戸市で本市との違いを学ぶ。</p> <p>初日は室戸市産業振興課補佐の濱田朋樹氏ほか2名から話を聞きました。</p> <p>担当職員3名より実情やこれまでの経験についてなど</p> <p>本市との違いについて聞きとりをするなかで、目標値を掲げて人員配置を行う。</p> <p>目標値は前年度の10%増しで設定。</p> <p>人員配置は実績に応じて配置するのではなく、目標とする金額を達成するためには如何に売り込んでいくか、効果が上がるかなどを検討して人員の配置を決めるとの事。</p> <p>メディアをうまく使ったの広報を行うべきで、テレビ、新聞等の関係者に情報を積極的に提供し広くうまく活用をする。</p> <p>力を入れている返礼品には、その物のストーリーを付けたPRを行うなど、とにかく情報発信に力を入れるべき。【ターン者よりUターン者を大事にすべきという見解。</p> <p>フェイスブックやインターネットなどを活用すべき。魚は冷凍品が良い。又、冷凍さつま揚げは喜ばれる、等々。</p> <p>◆本市に足りないものについて意見交換</p> <p>広報力が不足しているのでは。</p> <p>返礼品にストーリー性が無いのでは、付加価値を付けるべき。</p> <p>住民税の取り合いを積極的に行っていないのではないかと感じているとの事。</p> <p>情報発信が不足しているのでは。</p>

インターネットのサイト数を増やすべきで、寄付者のニーズに合った個数、量、冷凍品などの品揃えをする、セット数の設定、期間限定、早いもの勝ちと、とにかく選択肢を増やす。土佐清水市には返礼品としての農林水産物が、実は充分有るのではないか、ハガツオ、イセエビは大変良いのではないか、長太郎貝は室戸市には無いし、目玉になるのではないかと思うので積極的にやるべき。

返礼品カタログの写真はプロのカメラマンを使うなど、視覚に訴える効果を狙うべき。等々

#### 【所 感】

◆ふるさと納税がふるさとを応援する寄付金と捉えるなら、本市はまだまだ積極的に行えるのではないかと感じた。

ふるさと納税が増える事で様々な事業の財源に使い、活かせると思うからこそ、増やして行かなければならない。

今回の視察は室戸がどの様に取り組んでいるかを学んだ訳で、今後我々は本市においてどう協力し、応援できるのか検討して行かなければならないのではないかと思う、その一端として返礼品業者へは返礼品開発の補助金は有ったのかと今になって、思いだされる。

本市と室戸市がコラボする返礼品開発もまた、本市がステップアップする機会であり、この件は会派みらいの中では共通認識として捉えており、これもまた担当課を交えての事業推進として行くべきであると認識している。

そういったことで、今回の視察研修が本市にとって発展の一助となる事を確認し、有意義な内容で有ったと認識しています。

以上報告致します。